

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
  - ◆ 出席委員：新野・川口・佐藤・前田・武本・渡辺委員 …6 名
  - ◆ オブザーバー：保安院／今井所長 田口企画班長（原子力発電検査課） エネ庁／沼田所長  
東電／長野副所長 守 GM
  - ◆ 事務局：柏崎市／藤巻 広報センター／押見事務局長 木村主査
- 

次回以降定例会内容について

- ◆ 2 月定例会 情報共有会議 （2 月 6 日）
  - ・ 開始は午後 6 時
  - ・ 市民プラザ 風の部屋テーマについて
  - ・ 地震の問題は避けられないのでは。
  - ・ 今回の地震を踏まえて、各部署の立場として今後どのようにやっていくのかというような内容でどうか。[テーマ]
  - ・ 中越沖地震を受けて、今後どのように対処していくのか。[発言の順番]
  - ・ 保安院、加藤審議官→エネ庁→県、斎田危機管理監→市、会田市市長→村、品田村長→東電、高橋所長[スケジュール]
  - ・ 前回定例会以降の動き 6:00～ …資料のみでなるべく 15 分程度で終了させる。
  - ・ スピーチ 各 10 分程度 6:15～7:15 …延びても 7:30 をめどに。
  - ・ 質疑は 1 時間程度
  - ・ 懇談会は場所を変えて盛来軒でどうか。（後日場所の確認） 8:30～
- ◆ 3 月定例会 （3 月 5 日）

東電

  - ・ 発電所の建物の傾きのデータや、カインの話なども、積み残しのものとしてある。2 月の定例会には、建屋の傾きのデータの一部（地震前のデータ）および地震時のカインのデータを提出。

委員

  - ・ 地質調査の結果が 3 月末頃には出てくるのでは。定例会内容はそれに合わせた形で。
  - ・ 2 月の定例会で資料データとして出せるものは出してもらい、議論は 3 月に。
  - ・ 提出された資料に関する、継続的な議論でどうか。
- ◆ 4 月定例会  
日程：4 月 9 日（水）
  - ※ 2 日が本来の日程であるが、新年度の移動の時期であることや、東電の地質調査結果が間に合うかどうかということも考慮し、第 2 週目に設定。

### 県外視察について

- ・ 福島第一の何号機を視察できるかは未定。
- ・ 2月定例会で、視察の詳細を提出。
- ・ 1日目の懇談の内容は、お互いの活動に関する意見交換とし、地震をからめたもの。
- ・ 視察の希望箇所→(委員)使用済み燃料を貯蔵してあるところ(使用済燃料乾式貯蔵設備)。

### 牧之原市議会との懇談会について

- ・ 1月15日(火)16:00~17:00 市役所にて
- ・ 地域の会運営委員が対応(参加者:新野会長、渡辺副会長、川口委員、久我委員、佐藤委員、武本委員、前田委員)
- ・ 牧之原市議会からは8名参加。
- ・ 15:30に市役所集合。

### 委員質問意見について

- ・ 意見については、そのまま定例会に提出。
- ・ 運転に関する質問については、これからの議論と重なるので意見として受け止めるが、先を見据えた考え方を示してもらいたいということは共感できる。

### 視点内容について

#### 全般

- ・ 4月定例会の日程は9日。
- ・ 編集後記については、本人に確認。最後の3行を削ったらどうか。
- ・ 観測技術や機械→機器
- ・ 来週の18日が校了

#### トピックス関連

- ・ 住民への情報伝達が遅れたとのことだが。→遅れたとのことだが、どう思うか。
- ・ 電話設備に被害を受け→電話設備がある部屋に被害を受け
- ・ 発電所は大丈夫と言った情報を流せば一定の風評被害は防げたのでは。→放射能の心配はないと言った情報を迅速に流せば、風評被害は軽減できたのではないか。

#### 公開勉強会関連

- ・ 日本海にあるひずみ集中帯→日本海側にある・・・
- ・ 新しい耐震基準の残余のリスクとは何か→新しい耐震基準の残余のリスクはあるか。
- ・ 基準地震動を十分高く設定していること。→高く設定していることが大切。
- ・ 新しい耐震設計審査指針では基準地震動の設定が不十分→審査指針でも基準地震動の考え方は不十分。
- ・ 残余のリスクはある→カット
- ・ 地球規模→地震規模

- ・ 第1回目の講演の図は入れてもらいたい。
- ・ 大きくズレ破壊する→強くズレ破壊する

#### 次回運営委員会について

- ・ 2月19日(火)

#### その他

保安院より

- ・ IAEAの調査団が1月30日に柏崎に入る。